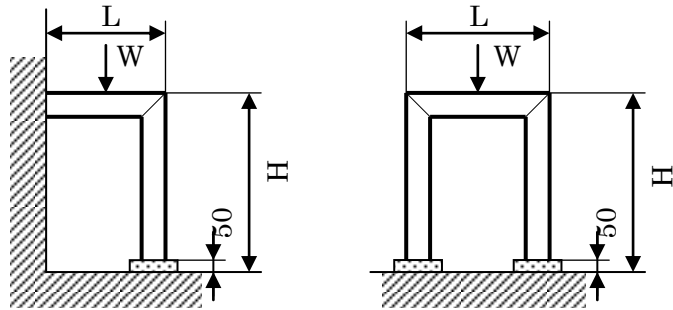


(ウ) L形支持架台・門形支持架台

A 垂直荷重-スパンとの関係による選定



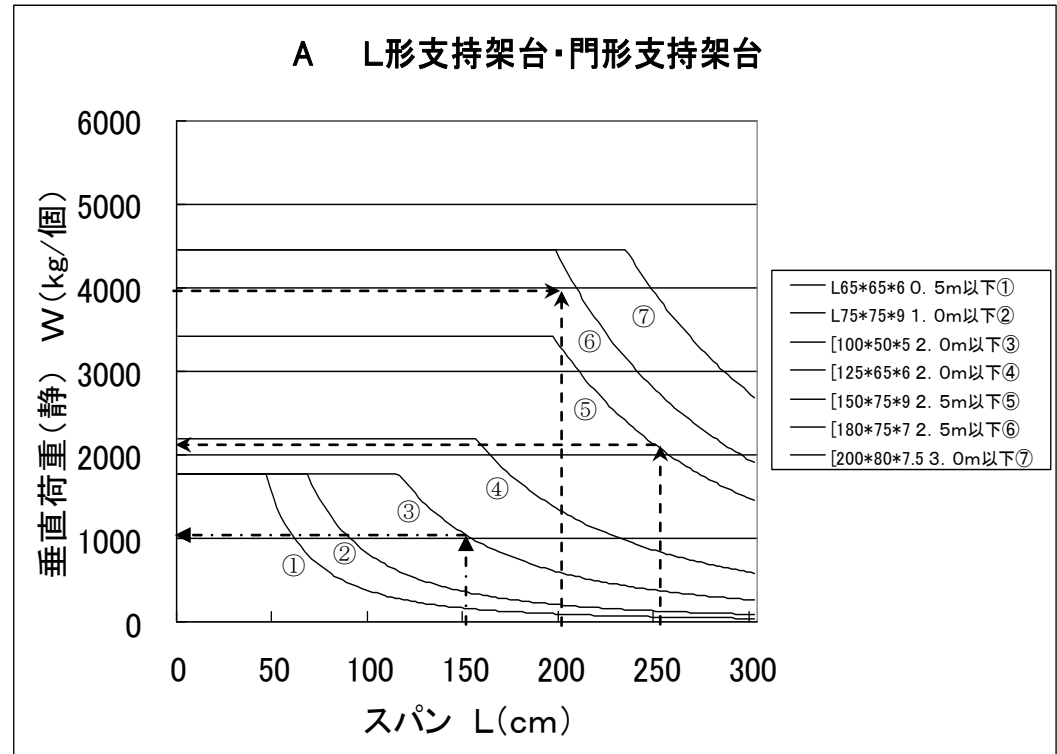
条件

- 荷重は5t以下の垂直荷重とし、これを超える場合は別途設計々算によること。
- Hが制限を超える場合は同上の処置をとり、補強材の設置及び脚部材の変更等行うこと。

第2章 2-17-1-76

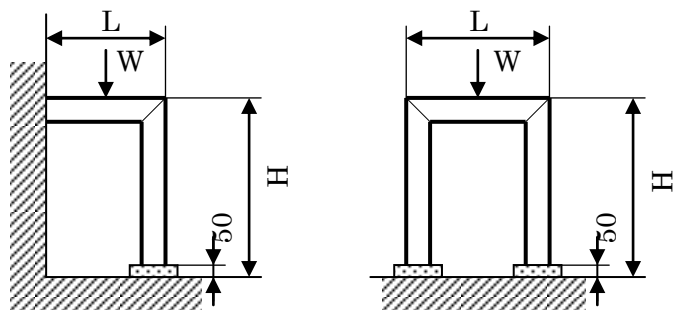
クラス選定度の見方、選定手順 (例)

- サポートクラス、スパンが分かり垂直荷重 W を求める場合サポートクラス⑤、スパン L=250cm で W=2.12t が求まる
- 垂直荷重 W、スパン L、高さ H が分かりサポートクラスを求める場合
W=4t、L=200cm、H=220cm とすると、先ず H=220cm よりサポートクラス⑤、⑥、⑦を選定する。
W=4t、L=200cm の交点より⑥クラスを決定する。
- 参考 H を越える場合はB (垂直荷重・高さとの関係による選定) にて確認する。



諸元/クラス	サポートクラス (種別)						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
脚 材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5	[125*65*6	[150*75*9	[180*75*7	[200*80*7.5
梁 材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5	[125*65*6	[150*75*9	[180*75*7	[200*80*7.5
ベースプレート	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*240*240	R9*240*240
参考H(m)	約 0.5 以下	約 1.0 以下	約 1.5 以下	約 2.0 以下	約 2.5 以下	約 2.5 以下	約 3.0 以下
アンカボルト径 (参考)	M12	M12	M16	M16	M16	M16	M16

B 垂直荷重-高さとの関係による選定

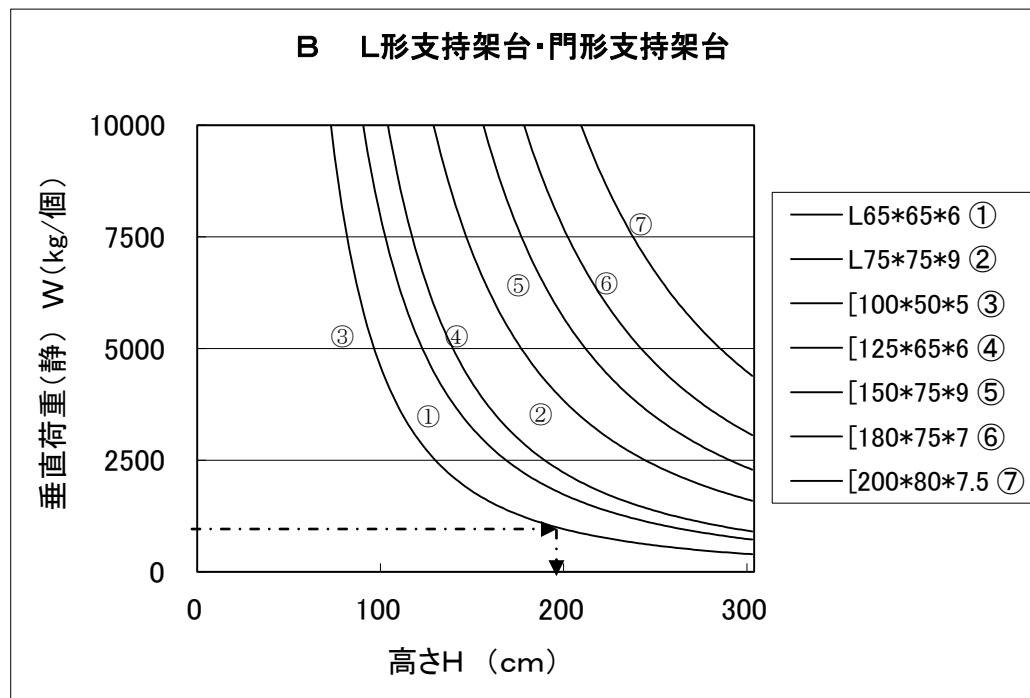


スパンからの高さ選定手順 (例)

- スパンー垂直荷重のグラフより
サポートクラス③、スパン $L=150\text{cm}$ で垂直荷重 $W=1.05\text{t}$ が求まり、右グラフより高さ $H=192\text{cm}$ が求まる。

* 高さからのスパン選定は上述の逆手順で行う。

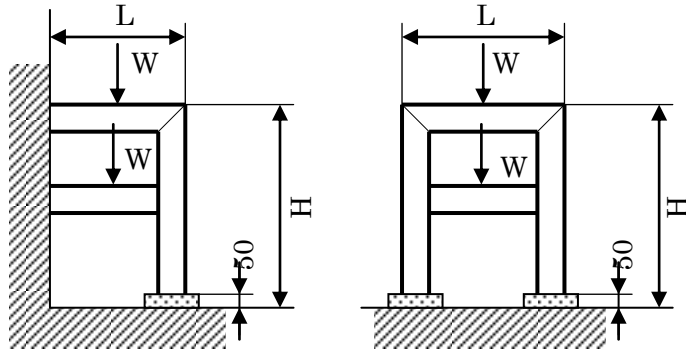
B L形支持架台・門形支持架台



諸元/クラス	サポートクラス (種別)						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
脚材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5]	[125*65*6]	[150*75*9]	[180*75*7]	[200*80*7.5]
梁材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5]	[125*65*6]	[150*75*9]	[180*75*7]	[200*80*7.5]
ベースプレート	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*240*240	R9*240*240

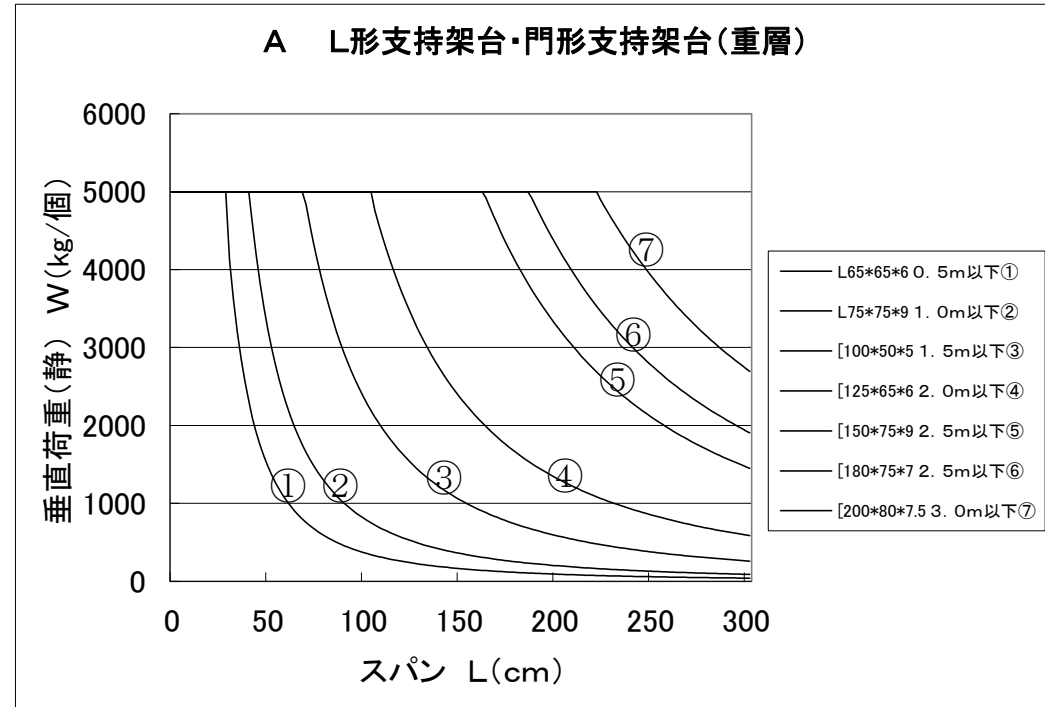
(エ) L形支持架台・門形支持架台（重層）

A 垂直荷重-スパンとの関係による選定



条件

- L形支持架台・門形支持架台に準ずる。



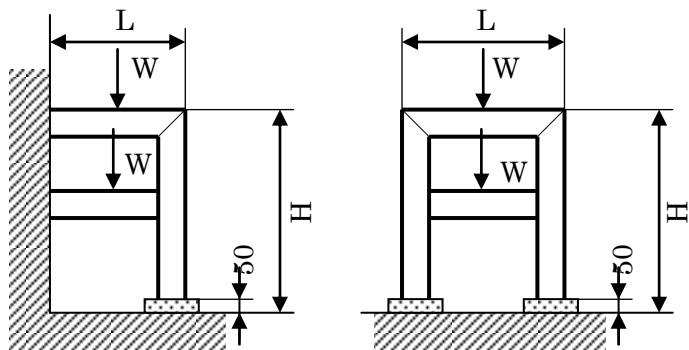
*各部材曲線図の水平線はたわみ制限をあらわす。

クラス選定度の見方、選定手順（例）

- 方法は、(ウ) L形支持架台・門形支持架台に準ずる。

諸元/クラス	サポートクラス（種別）						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
脚材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5	[125*65*6	[150*75*9	[180*75*7	[200*80*7.5
梁材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5	[125*65*6	[150*75*9	[180*75*7	[200*80*7.5
ベースプレート	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*240*240	R9*240*240
参考H(m)	約 0.5 以下	約 1.0 以下	約 1.5 以下	約 2.0 以下	約 2.5 以下	約 2.5 以下	約 3.0 以下
アンカーボルト径（参考）	M12 ; M16	M12 ; M16	M16	M16	M16	M16	M16

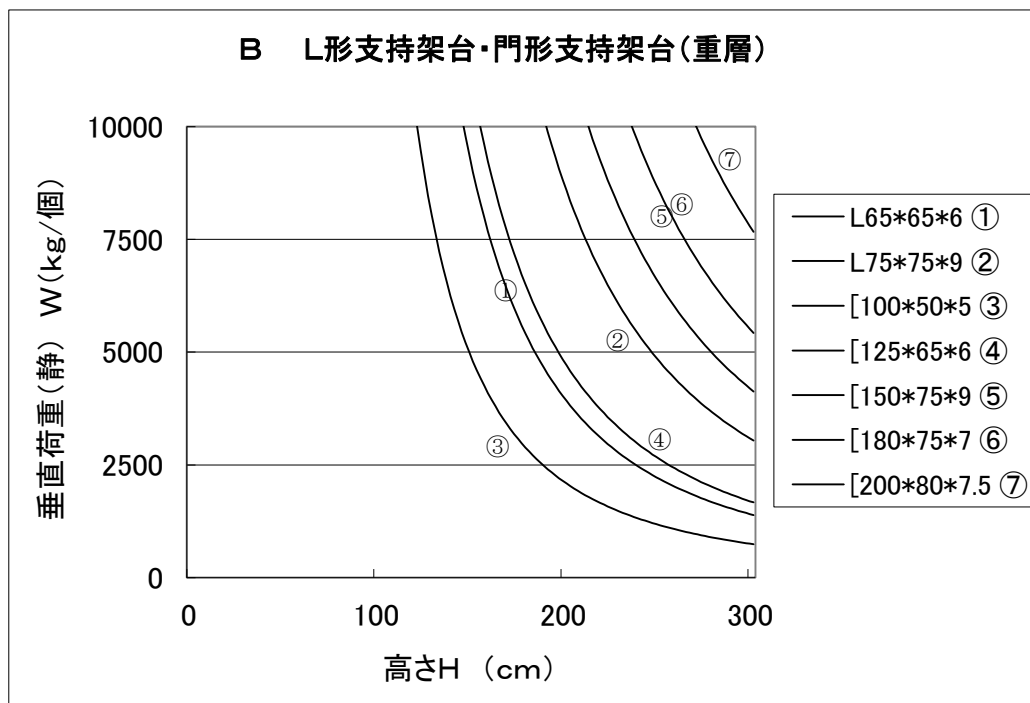
B 垂直荷重-高さとの関係による選定



スパンからの高さ選定手順 (例)

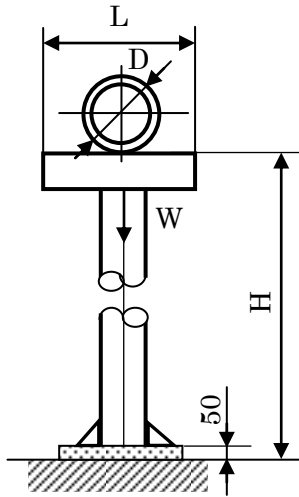
●方法は、(ウ) L形支持架台・門形支持架台に準ずる。

B L形支持架台・門形支持架台(重層)



諸元/クラス	サポートクラス (種別)						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
脚材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5	[125*65*6	[150*75*9	[180*75*7	[200*80*7.5
梁材	L65*65*6	L75*75*9	[100*50*5	[125*65*6	[150*75*9	[180*75*7	[200*80*7.5
ベースプレート	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*220*200	R9*240*240	R9*240*240

(オ) スタクション形支持架台



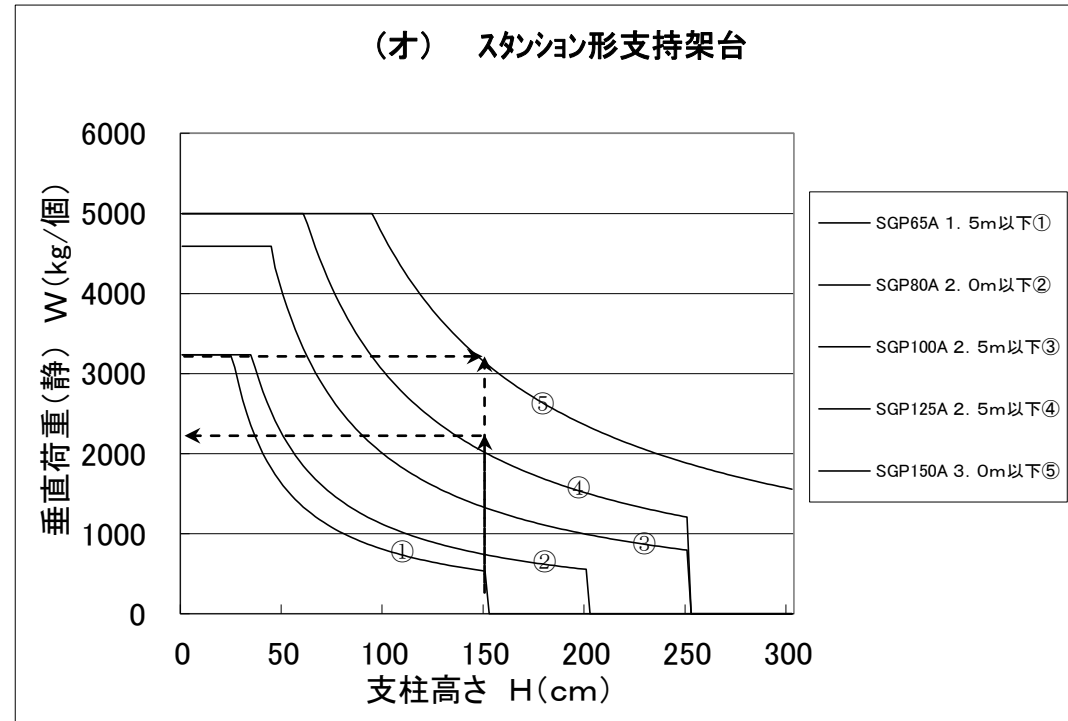
条件

- 荷重は 5 t 以下の垂直荷重としこれを越える場合は別途設計々算等にする。
- Hが制限を越える場合も同上とする。
- 荷重が大なる場合はベースプレート部、アンカーの強度検討を行っておく。

(注) ●Lは管口径に合った長さとする。
●複数管の場合は対象に管を配置し、Lの制限によりクラスを選定し垂直荷重を確認する。

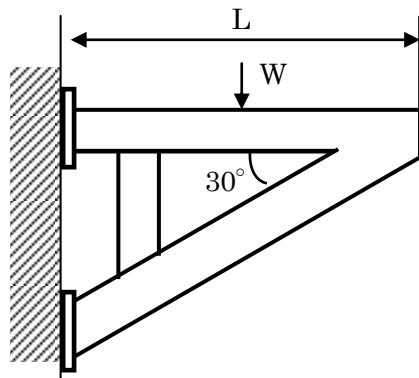
クラス選定表の見方

- クラスと高さが分かり垂直荷重を求める場合
H=150cm、クラス④で W=2.0t となる。
- 垂直荷重と高さが分かりクラスを求める場合
H=150cm、W=3.0t でクラス⑤となる。



諸元/クラス	①	②	③	④	⑤
脚材	SGP65A	SGP80A	SGP100A	SGP125A	SGP150A
梁材	[150*75*6.5	[150*75*6.5	[150*75*6.5	[150*75*6.5	[200*80*7.5
適用積載管口径 D	350 φ 以下	350 φ 以下	350 φ 以下	600 φ 以下	800 φ 以下
L(m)	500 以下	500 以下	500 以下	750 以下	1000 以下
ベースプレート	R9*280*280	R9*280*280	R9*280*280	R9*280*280	R9*280*280
参考H(m)	1.5 以下	2.0 以下	2.5 以下	2.5 以下	3.0 以下
アンカーボルト径(参考)	M12 ; M16	M12 ; M16	M16	M16	M16

(カ) ブラケット形支持架台

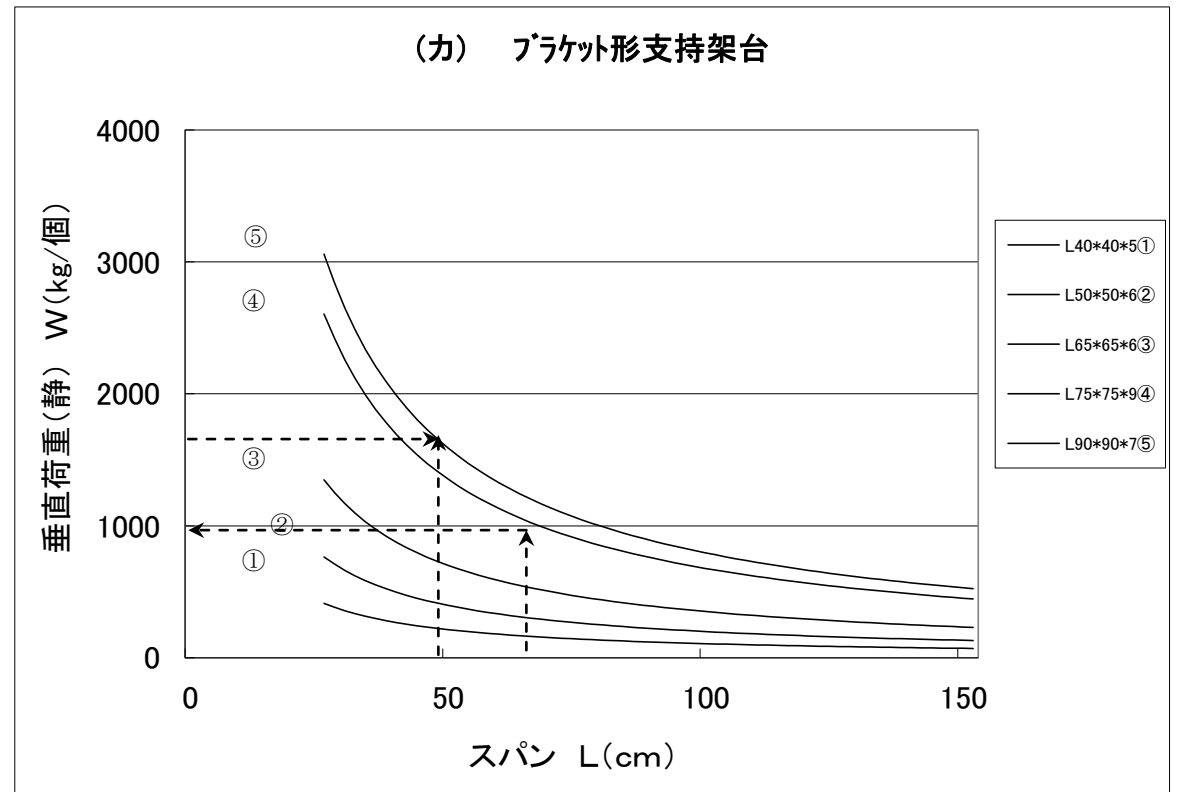


条件

- 荷重は 5 t 以下の垂直荷重とする。これ以外は別途計算による。
- スパンは 0.25～1.0m とする。これ以外は別途計算による。

クラス選定表

- 荷重とスパンが分かり種類を選択する場合
(例) $W=1.6t$ 、 $L=50cm$ のときクラス⑤
- 種別スパン L が分かり垂直荷重を知りたい場合
(例) クラス④、スパン $L=70cm$ で $W=1.0t$ となる。



諸元/クラス	①	②	③	④	⑤
脚材	L40*40*5	L50*50*6	L65*65*6	L75*75*9	L90*90*7
ベースプレート	R9*100*100	R9*100*100	R9*100*100	R9*240*130	R9*240*130
適用 L スパン(m)	0.25 ~ 1.0				
アンカーボルト径 (参考)	M12; M16	M12; M16	M16	M16	M16